

全柔連発第 22-0409 号
令和 4 年 11 月 10 日

都道府県柔道連盟（協会）会長・安全指導員各位

重大事故総合対策委員会
委員長 磯村 元信



コロナ禍における頭部打撲による重大事故の根絶に向けて

平素より、当連盟事業にご理解、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

当連盟では、かねてより柔道事故防止のための啓発活動と共に都道府県柔道連盟（協会）の安全指導員の連携・協力をお願いしているところであります。

コロナ禍で止まっていた社会活動も徐々に平常に戻りつつあります。同様に柔道の練習や大会等も感染防止を徹底しながら以前の状況を取り戻しつつあります。各地域で柔道の活動が活発になることは喜ばしいことですが、一方で、柔道事故の報告件数も増加傾向にあります。特に、コロナ禍の特徴として、脳しんとう等の頭部打撲による事故が増えています。十分な練習やトレーニングができないコロナ禍の環境で試合等が行われることで柔道経験の長い者でも頭部を打撲するケースが多くなっています。事故報告（別添）は令和 2 年度が 11 件、令和 3 年度が 8 件で、そのほとんどが頭部外傷（脳しんとう）でした。今年度（10 月現在）はすでに 11 件の頭部外傷（脳しんとう 5 件、急性硬膜下血腫 5 件）があり、そのうち重大事故、準重大事故が 3 件発生し、残念ながら 1 名が死亡に至っています。

コロナ禍がゆるやかに終息に向かうと思われるこれからの時期、練習や試合等で頭部打撲による重大事故が発生する危険性が高まっています。各連盟、競技団体におかれましては、こうした現状に鑑み、一層の事故防止及び安全指導の徹底をよろしくお願いします。

急性硬膜下血腫や脳出血の既往、または頭部に重大な既往症がある場合は、 原則として柔道の実技は行わないことを徹底する。

今年度の重大事故の 1 件は、過去に柔道とは無関係の病気による頭部に重大な既往症のある小学生が大外返しで投げられて急性硬膜下血腫で一時意識不明の重篤な状態に陥ったものです。これまでも同様の重大事故が報告されています。重大頭部外傷を起こしやすい病歴（柔道の事故に限らず）のある場合は、経過年数によらず原則として柔道の実技は行わないことを徹底することが重要です（詳細は「柔道の安全指導」第 5 版の 5 ページ参照）。柔道を始める時、練習環境や指導者が変わる時には、健康状態や頭部の重大な既往症の有無などを確認することが重要です。

■別添「コロナ禍における事故報告一覧（2020 年度～2022 年度）」参照

コロナ禍の事故報告一覧（2020年度～2022年度）

| 2022年度 | | | | | | | | |
|--|-------|-----|----|--------|-----------------|------------|--------------|------------------|
| No | 発生日 | 学年等 | 性別 | 経験年数 | 病名 | 重大 準重大 | 場所 状況 | 技名等 |
| 1 | 4/17 | 高3 | 男 | 4年11ヶ月 | 脳しんとう | — | 試合 | 大外刈り |
| 2 | 5/3 | 中3 | 男 | 6年8ヶ月 | 脳しんとう | — | 試合 | 背負い投げ |
| 3 | 5/5 | 高2 | 男 | 4年2ヶ月 | 脳しんとう | — | 試合 | 裏投げ |
| 4 | 5/7 | 高3 | 男 | 5年4ヶ月 | 脳しんとう 頸椎しんとう | — | 試合 | 大外刈り |
| 5 | 6/4 | 中2 | 男 | 5年2ヶ月 | 急性硬膜下血腫 脳浮腫 | 準重大 | 練習 (合同稽古) | 大外刈り |
| 6 | 6/5 | 中3 | 男 | 5年2ヶ月 | 脳しんとう | — | 月次試合 | — |
| 7 | 6/11 | 高2 | 男 | 9年8ヶ月 | 裂傷（出血） | — | 試合 | — |
| 8 | 7/22 | 中2 | 女 | 1年2ヶ月 | 急性硬膜下血腫 | — | 試合 | 大外刈り |
| 9 | 9/26 | 小5 | 男 | 1年3ヶ月 | 急性硬膜下血腫 | 重大 | 練習 | 大外刈り (返された) |
| 10 | 10/18 | 一般 | 男 | 12年0ヶ月 | 急性硬膜下血腫 | 重大 【死亡】 | 試合 | 払い腰 (同体で倒れた) |
| 11 | 10/21 | 小6 | 男 | 5年10ヶ月 | 急性硬膜下血腫 | — | 練習 | 払い腰 |
| 2021年度 | | | | | | | | |
| No | 発生日 | 学年等 | 性別 | 経験年数 | 病名 | 重大 準重大 | 場所 状況 | 技名等 |
| 1 | 5/5 | 高1 | 男 | 7年 | 脳しんとう | — | 試合 | 寝技 (相手の反則) |
| 2 | 5/16 | 高3 | 男 | 6年 | 頭部打撲症 頸椎捻挫 | — | 試合 | 谷落とし |
| 3 | 5/16 | 高3 | 男 | 11年1カ月 | 脳しんとう | — | 試合 | 袖釣り込み腰 |
| 4 | 6/19 | 中1 | 男 | 4年6カ月 | 脳しんとう | — | 練習 (乱取り) | 大内刈り |
| 5 | 6/25 | 高2 | 女 | 6年3カ月 | 脳しんとう 脳挫傷 | — | 試合 | 大内刈り |
| 注：事故報告書には「脳挫傷」という診断名も記載されていたが、その後は意識障害や後遺症もなく試合でも活躍しているとの経過報告があった。 | | | | | | | | |
| 6 | 7/24 | 中1 | 女 | 2年4カ月 | 脳しんとう | — | 試合 | 「逆背負い投げ」（通称）の様な技 |
| 7 | 8/6 | 中1 | 男 | 3年3カ月 | 脳しんとう 右眼窩底骨折 | — | 練習 (乱取り) | 背負い投げ |
| 8 | 1/17 | 高1 | 男 | 3年9カ月 | 脳しんとう | — | 練習試合 | 組み手争い |
| 2020年度 | | | | | | | | |
| No | 発生日 | 学年等 | 性別 | 経験年数 | 病名 | 重大 準重大 | 場所 状況 | 技名等 |
| 1 | 6/17 | 小3 | 男 | 3年 | 脳しんとう | — | トレーニング | — |
| 2 | 8/1 | 中2 | 男 | 7年3カ月 | 脳しんとう 頸椎捻挫 | — | 試合 | 内股 |
| 3 | 10/10 | 高2 | 男 | 10年4カ月 | 脳しんとう | — | 練習 (乱取) | 大内刈 |
| 4 | 10/17 | 中2 | 男 | 1年6カ月 | 脳しんとう むち打ち症 | — | 試合 | 小内刈 |
| 5 | 10/18 | 中3 | 女 | 2年6カ月 | 脳しんとう 後頭部打撲 | — | 試合 | 大外刈り |
| 6 | 10/21 | 高2 | 男 | 11年7カ月 | 脳しんとう 一時的健忘 | — | 練習 | 背負い投げ |
| 7 | 11/7 | 高2 | 男 | 6年0カ月 | 脳しんとう | — | 試合 | 袖釣り込み腰 |
| 8 | 11/7 | 中2 | 男 | 5年0カ月 | 脳しんとう | — | 試合 | 出足払い |
| 9 | 1/9 | 高1 | 男 | 11年5カ月 | 中心性頸髄損傷 | — | 練習 | 背負い投げ |
| 10 | 3/13 | 中2 | 男 | 7年7カ月 | 頸椎損傷 | — | 練習（部活） | 三角固め |
| 11 | 3/21 | 小6 | 男 | 5年6カ月 | 脊髄しんとう | — | 試合 | 大内刈り |